



エネルギー、 電力、および制御

ウィスコンシン州



5,000

人以上が2020年に工学学士お
よび認定証を取得

ウィスコンシン州では、エネルギー、電力、制御セクターに独自に適する比類のない利点を提供します。

労働力。ウィスコンシン州には、製造業に従事する経験豊富な労働者が米国で2番目に多く、重要な産業部門では、競合する州よりも3〜4倍集中しています。

中心的な立地。米国の中心部から、北米全体の市場への迅速なアクセスを提供します。シカゴとそのオヘア空港は、州境から1時間以内の場所にあります。そして、私たちの十分に発達したロジスティクス部門は、鉄道、陸路、空路、または水路を介して効率的に商品を市場に送り出します。

学問的な卓越性。私たちは理論科学と応用科学の限界を押し広げ、将来に向けて有能な人材を育成します。主要大学であるウィスコンシン大学マディソン校は、年間13億ドルを超える研究費で米国8位に位置しています。ウィスコンシン大学群は、年間41,000以上の学位を授与しています。

自然災害のリスクが低い。地震や山火事から、熱波、竜巻、ハリケーンなどの気候の脅威まで、考えられるあらゆるタイプの災害リスクが非常に低いです。

財政的責任。全額出資の州年金制度（米国で2つのみ存在する国営年金制度の1つ）から並外れた信用格付けまで、政治的に安定しており、低税・低規制で、ビジネスを歓迎するような環境を提供しています。

先端製造技術、エネルギー、電力、制御、水技術、飲食業、バイオヘルスといった重要な産業部門のグローバルリーダーが、北米市場への入り口としてウィスコンシン州を選ぶ理由を見てください。

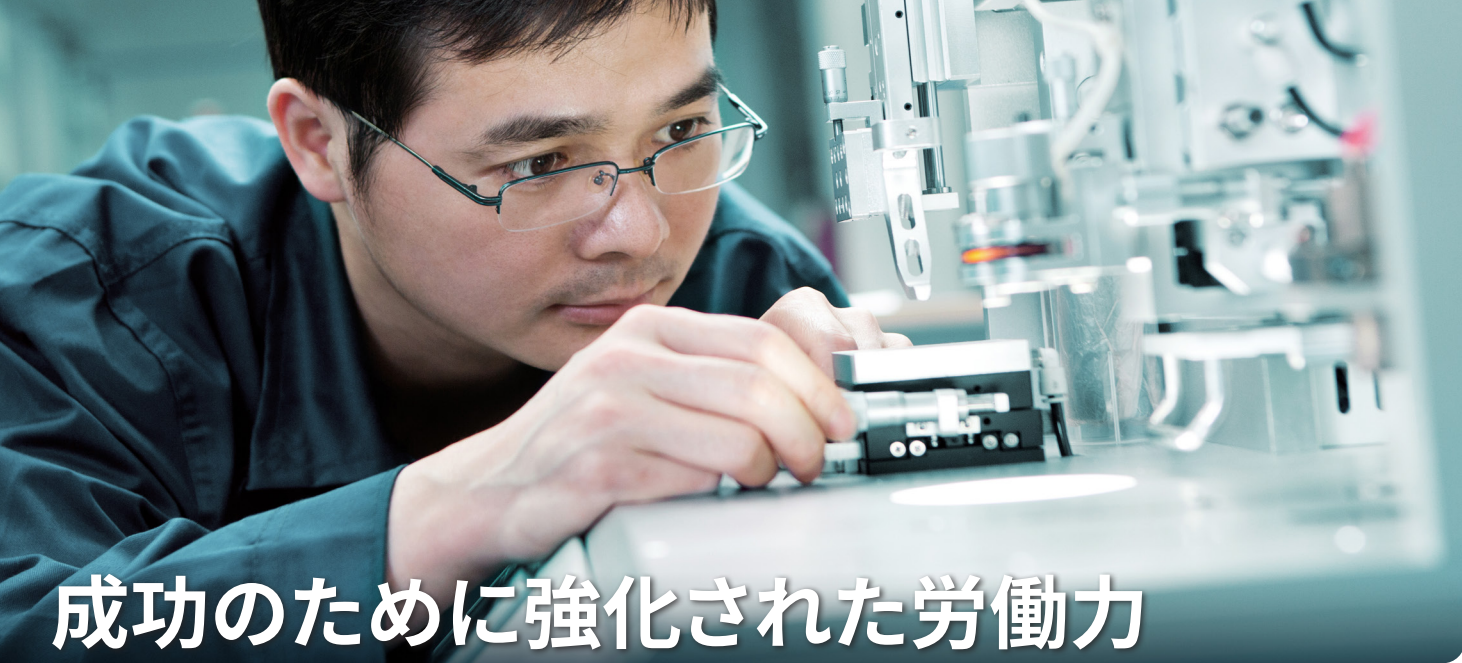
1,100社以上の

エネルギー、電力および制御業界の企業

116,000件以上の

業界の雇用

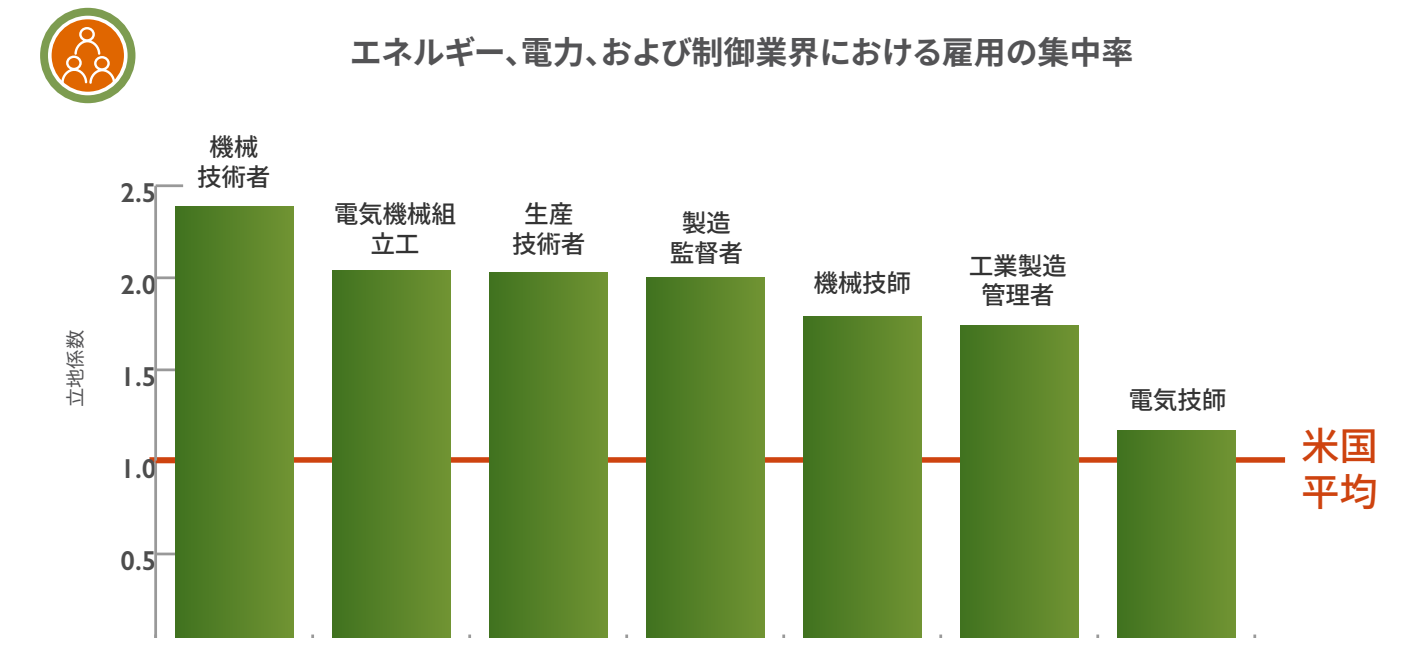




成功のために強化された労働力

ウィスコンシン州は、勤勉な中西部の労働倫理でよく知られており、その教育システムは広く賞賛されています。ウィスコンシン州は、高校の卒業率が一貫して全国上位にランクされており、革新と経済成長の最前線にいたるために人材の安定したパイプラインを提供しています。

ウィスコンシン大学システムは、研究と人材育成において確立されたリーダーシップを持ち、品質とリーチの面で定期的にリーダーとして言及されています。ウィスコンシン州の公立および私立の大学とカレッジは、市場のニーズを満たすために新しく革新的な製品の開発に取り組んでいる州全体のパートナー、企業、政策立案者をサポートしています。また、ウィスコンシン州は、米国で最初に専門学校システムを開発した州として、絶えず変化する業界の需要を満たすために人材をトレーニングしてきた経験が100年以上あります。



2位 米国内で製造業雇用が上位

学問的な卓越性

ウィスコンシン州では、州の大学が研究と技術の商業化をリードしており、パートナー、企業、および政策立案者が、市場のニーズを満たすような新しく革新的な製品を開発できるようサポートしています。例えば：

ウィスコンシン大学マディソン校およびウィスコンシン大学ミルウォーキー校はどちらも最上位の研究大学です。

ウィスコンシン大学マディソン校は工学研究費用において米国の大学のトップ3%に入り、世界ランキングでもほぼトップに位置づけられています。

465,000 人以上の専門学校生・大学生

ウィスコンシン大学ミルウォーキー校の工科大学および応用科学は、米国の研究大学の上位4%に入っています。

計算機工学ではトップ10 nationally、電気工学ではトップ15に入るミルウォーキー工科大学は、常にビジネスと業界のリーダーと関わってきました。

ウィスコンシン大学マディソン校のウィスコンシンエネルギー研究所は、触媒研究、トレーニング、テクノロジーの拠点であり、大規模なエネルギー問題を解決するために165人以上の学部研究者が分野を超えて取り組んでいます。

州全体で16校の専門学校と35校の大学からなる98のキャンパスが、ウィスコンシン州の経済に力強く貢献できる学生と、その学生をその後雇用するリーダーに対する教育を行っています。



強固な産業。 テクノロジースマート。 将来への万全な準備。

ウィスコンシン州の人口 **580万人**

学士号以上 **31 %**の成人が取得

高校の卒業証書 **93 %**の成人が取得

革新のために構築

ウィスコンシン州は、世界を動かすための新しいアイデア、先端応用技術、およびエネルギー効率技術を生み出しています。ウィスコンシン州は、エネルギー、電力、および制御業界における国際的な中心地です。市場をリードする産業能力、先端の学術研究、および専門機関を独自に活用しています。電気機械および制御製造は、ウィスコンシン州で最も急速に成長し、最も競争力のある産業部門の1つであり、この部門の企業は、絶えず新しい市場の需要と機会に適応することで世界のエネルギー問題に献身的に取り組んでいます。

エネルギー：グリッドの近代化、保全、化石燃料、原子力、再生可能エネルギー、貯蔵

電力：電力制御とセンサー、送電、配電、監視、効率と品質

制御：産業および建築アプリケーション、エネルギー管理、SMARTグリッド・分散型エネルギー、風力および太陽光制御のための自動化およびシステムインテリジェンス

ウィスコンシン州のエネルギー、電力、および制御部門は、中西部エネルギー研究コンソーシアム (M-WERC) という、業界で最も困難な研究課題を解決し、市場の洞察を提供し、人材育成を促進するために公的および民間の利害関係者を結集する会員組織を通して繋がっています。

エネルギー、電力、および制御業界においてウィスコンシン州を代表する 企業：



私たちは、未来を動かすため、クリーンで
持続可能なエネルギー技術の創出と拡大に焦
点を当てています。



735MWの電力設備容量を持つ風力タービンが
445基あり、およそ172,000世帯分に相当する電力
が風力エネルギーから提供されています。



130MWの設備太陽光発電を生成しており、およ
そ21,000世帯分に相当する電力が太陽エネルギ
ーから提供されています。



ウィスコンシン州最大のソーラーファームである
Two Creeksでは、2020年11月から電力を供給し、
州の太陽光発電容量が2倍になりました。



34の農場消化槽、42の埋立地ガスシステム、およ
び60の水処理施設バイオガスシステムを備え、バ
イオ燃料分野をリードしています。



2019年のエタノール生産能力で全国9位にラン
クインしています。



ソースと出典の詳細については、
[inWisconsin.com/industrydata](https://inwisconsin.com/industrydata)を参照して
ください。

ウィスコンシン州は、共同して行う取り組みが特徴的です。企業は、学術パートナーと、相互に、または公共部門
や非営利のパートナーと協力して、イノベーションを推進し、次世代の人材を育成します。ウィスコンシン州に拠
点を置くことで、あなたの会社は以下から恩恵を受けることができます。

五大湖バイオエネルギー研究センターは、米国エネルギー省により設立された4つの優れたバイオエネルギー研究
センターの1つであり、耕作限界地で栽培された専用のエネルギー製品から作られた効率的で持続可能なバイオ燃
料とバイオ製品を研究開発しています。

電力系統工学研究センターは、送電および配電研究の温床です(ウィスコンシン大学マディソン校が創設メンバ
ーです)。

ウィスコンシン大学マディソン校で行われる**ウィスコンシン電気機械および電力コンソーシアム**では、70社を超える
企業スポンサーのもと、コンソーシアムの教授陣、大学院生、および国際的な学者のチームが協力して、電気機械、パ
ワーエレクトロニクス、アクチュエータ、センサー、ドライブ、モーションコントロール、およびドライブアプリケーション
に関する最新技術や手法を研究開発しています。

エネルギー推進センターでは、ジョンソンコントロールズとウィスコンシン大学ミルウォーキー校が協力し合い、エネ
ルギー貯蔵および自動車バッテリー技術における新技術に関する最先端研究に注力しています。

持続可能な電気エネルギーシステムセンターは、電力系統を、より持続可能とし、費用効果を高め、安全となるよう
にする方法を開発しています。

サイバー・フィジカルエネルギーシステムラボでは、統合システムのサイバー部分と物理部分の間の真の相互作用
を反映できる有効なモデルを構築することを目的としています。これはスマートグリッド、マイクログリッド、エネルギ
ー効率の高い建物、水および天然ガスの流通ネットワーク、インテリジェントで持続可能な輸送、ヘルスケアシステ
ム、そしてスマート製造に適用されます。

国立科学財団から資金提供された**グリッド接続式の先端パワーエレクトロニクスシステム (GRAPES) 産学共同研
究センター**は、パワーエレクトロニクスの採用とグリッドへの挿入を加速し、電力システムを、より持続可能にし、
費用効果を高め、安全にすることを目標としています。

アルゴンヌ国立研究所は、米国エネルギー省の学際的な科学および工学研究センターで、車で簡単にアクセスでき
る場所にあります(ウィスコンシン州の州境から1時間強)。

